



「金融仲介機能のベンチマーク」の公表について

「金融仲介機能のベンチマーク」(以下ベンチマーク)とは、平成28年9月に金融庁から公表された、金融機関における課題解決の取り組みなど、金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価する際に活用できる指標です。ベンチマークは、「共通ベンチマーク」と「選択ベンチマーク」から構成されています。

- ◆「**共通ベンチマーク**」…金融機関の仲介機能の取り組み状況や課題等を客観的に評価する指標です。
- ◆「**選択ベンチマーク**」…各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる指標です。
- ◆「**独自ベンチマーク**」…金融機関が独自に取り組んでいるもの。

「金融仲介機能のベンチマーク」

計数は、令和2年3月末現在
※金額は単位未満を切り捨て、割合は小数点以下第2位を四捨五入しております。

当金庫の長期ビジョンであります地域の皆様から「必要とされ続ける信頼度ナンバー1の金融機関」を具現化すべくベンチマークを活用して、お客様のニーズや課題解決に繋がる支援に積極的に取り組み地元企業の成長・発展及び地域経済の活性化に貢献してまいります。

◆取引先企業の経営改善や成長力の強化 ◆メイン取引先数の推移

取引先数およびメイン先の融資残高は増加しております。メイン先数は緩やかに増加しております。

ベンチマーク		平成29年度	平成30年度	令和元年度
メ	イ	909先	912先	950先
与	信	1,843先	1,964先	2,031先
メ	イ	49.3%	46.4%	46.8%
メ	イ	290億円	309億円	322億円
経	営	650先	652先	681先
経	営	203億円	219億円	242億円

※原則、融資残高20百万円以上が対象先です。
※メイン取引先～直近決算の金融機関取引のうち当金庫融資残高が1位の先です。
※経営指標等が改善した先～前年対比で売上高・営業利益率・従業員数のいずれかが増加した先です。

◆取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

業況の改善や再生支援により条件変更先数は減少しております。

ベンチマーク		平成29年度	平成30年度	令和元年度
条	件	132先	112先	107先
う	ち	44先	28先	12先
好	調	33.3%	25.0%	11.2%

※売上高の計画と実績数値の対比で120%以上が好調、80%～120%未満が順調となっています。

◆創業支援

当金庫は、皆様の夢の実現を積極的にサポート致します。

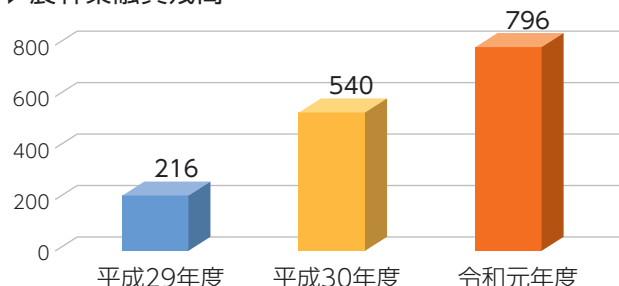
ベンチマーク	平成29年度	平成30年度	令和元年度
創業支援先数	75先	51先	34先

◆基幹産業(農業)への取り組み

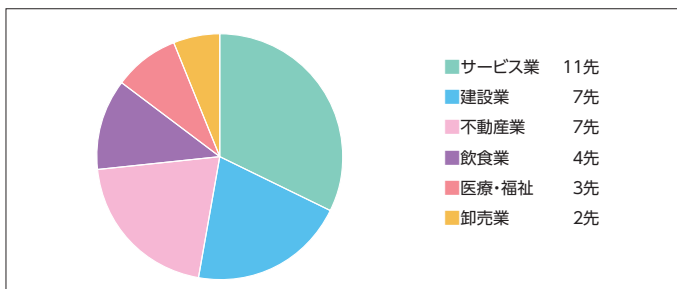
当金庫は基幹産業である農業分野に対するサポート強化に取り組んでおります。

農林業融資残高	平成29年度 216百万円	平成30年度 540百万円	令和元年度 796百万円
農林業融資先数	平成29年度 27先	平成30年度 78先	令和元年度 134先

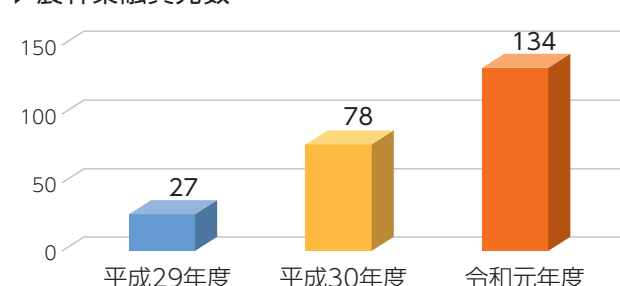
▶農林業融資残高(単位:百万円)



令和元年度 34社業種別内訳



▶農林業融資先数



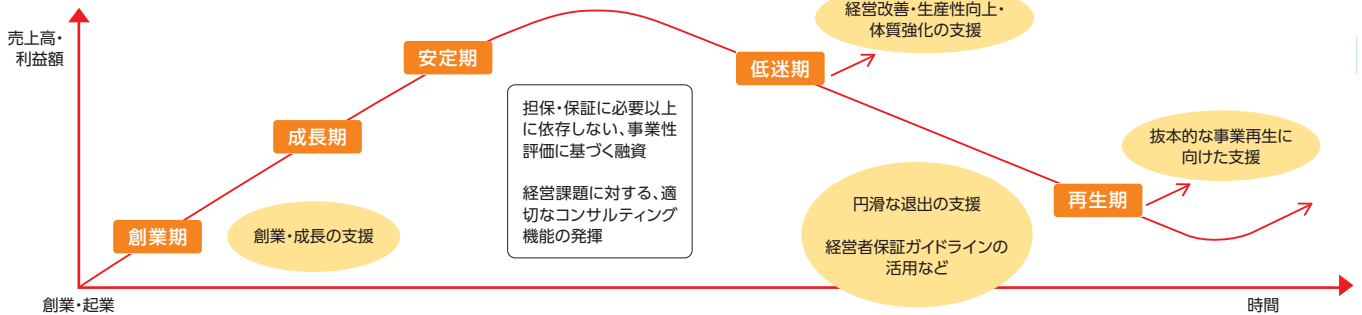
◆ライフステージ別の与信先数及び融資残高

当金庫は、地域社会・地域経済を担う事業者様のライフステージにマッチした経営支援に積極的に取り組んでおります。

ベンチマーク	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	314先	94先	852先	157先	107先
ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	72億円	32億円	325億円	42億円	21億円

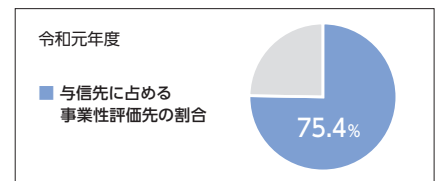
※成長期以降は原則、融資残高200万円以上が対象先です。
 ※創業期～創業、第二創業から5年以内の先です。
 ※成長期～売上高平均で直近2期が過去5期の120%超の先です。
 ※安定期～売上高平均で直近2期が過去5期の120%～80%以内の先です。
 ※過去5期は2015年～2019年です。
 ※低迷期～売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満の先です。
 ※再生期～条件変更先です。

企業のライフステージ（イメージ図）



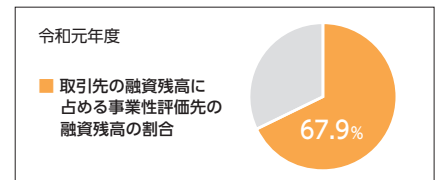
◆担保・保証依存の融資姿勢からの転換

ベンチマーク	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業性評価の融資を行っている与信先数	733先	1,152先	1,531先
与信先数	1,843先	1,964先	2,031先
与信先に占める事業性評価先の割合	39.8%	58.7%	75.4%



※与信先数は原則、融資残高200万円以上が対象先です。

ベンチマーク	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業性評価の融資を行っている先の融資残高	280億円	388億円	477億円
与信先の融資残高	627億円	660億円	703億円
取引先の融資残高に占める事業性評価先の融資残高の割合	44.7%	58.8%	67.9%



※事業性評価先～当金庫の事業性評価の定義は、お取引先企業の事業内容や成長可能性などを適切に評価し、「現状分析ヒアリングシート」、「ビジネスモデル俯瞰図」を作成している先です。
 ※与信先の融資残高は原則、融資残高200万円以上が対象先です。

◆ソリューション提案先数

当金庫は、課題解決型金融の徹底に努め、様々なソリューションの提案に取り組んでおります。

令和元年度実績	支援内容		
事業承継支援	9先	北海道事業引継ぎ支援センターの活用	3先
		信金キャピタル㈱の活用	5先
		北海道信用保証協会の事業承継サポート保証の活用	1先
M & A 支援		M&Aマッチングサイト「トランピ」の提案登録	287先
販路開拓支援	32先	ものづくりテクノフェアへの参加	3先
		インフォメーションパザールへの参加	3先
		各種商談会への参加	13先
		信金中金の優待カタログへの掲載	3先
		景況レポート誌上ビジネスマッチングへの掲載	4先
		クラウドファンディングの活用	6先
専門家派遣支援	13先	中小企業小規模事業者ワンストップ総合支援事業	1先
		よろず支援拠点事業	2先
		北海道信用保証協会経営支援	10先
認定支援	5先	中小企業庁経営改善支援センターによる経営改善	1先
		経営革新計画承認制度の活用	2先
		先端設備等導入計画認定制度の活用	2先
基幹産業（農業）支援		食品卸売業者同行による商談ツアー	15先

◆経営者向けセミナーの取り組み

当金庫は、お取引先企業に対してセミナー等の実施を通じて本業支援に取り組んでおります。

開催名	テーマ	参加者数
「クラウドファンディングセミナー」(5月)	購入型クラウドファンディング(Makuake)	6名
そらちしんきん「知財セミナー」(10月)	知的財産について	12名
第1回アグリセミナー(11月)	農業法人化のポイント	40名
第2回アグリセミナー(1月)	地元農作物を活用した農産加工の取り組み	45名